

生と死と愛と

偶然と普遍の間で!

何時もの駅でエスカレーターに乗ったAさん(47)は、自分の前にいる男性のマフラーを見て、おどろいた。そのユニークな柄のマフラーは、彼女が夫の誕生日にプレゼントした物と同じだったからだ。「また逢いに来てくれたのね」とAさん。

夫はそのマフラーをとても気に入っていて、冬はもちろん、暖かくなってしまえば離さなかった。そんな夫が、病気でこの世を去ってもう5年近くの歳月が過ぎた。お金は無かったが、仲の良い夫婦だった。一人娘が嫁いで、「これから二人で一緒に歳をとってゆきましょう!」そう話し合っていたのに、夫は一人で先に逝ってしまった。

嵐のような3年が過ぎ、ようやく「夫のいない生活」に慣れたころ、Aさんには密やかな楽しみができた。街を歩いていると、時々「夫と出会う」ことがあるのだ!もちろん、追いかけて行けば、それは他人のそら似!そんなことが何度かあって、彼女は心に決めた。「もう追いかけてはしない」、だから「時々私に逢いにきてね!」

Aさんは、この体験を誰にも話さなかった。話してもわかってくれないだろうし、むしろ「わかってもらっても困る」からだ。もちろんAさんの体験は妄想ではない。「夫との遭遇」は彼に似た他人や、夫を連想させるアイテムが、偶然に彼女の前に現れただけである。このことをAさん自身も明確に理解している。しかしAさんには、「この世に肉体を持った夫が、偶然の出来事を通して、私に逢いに来てくれている」と思えるのだ。カウンスラーの視点から述べれば、Aさんは偶然の出来事を、「必然の物語」で読み解く能力が高いのである。私たちは偶然の現象の奥に、<たましい>の働きを読み取ろうとする。これこそ人間の「普遍」(本質・「神」)を求める切ない願ひなのである。(品川博二/ケアカウンセラー)

HELLO! お坊さん

浄土宗 石川山
自性院
藤沢市石川



住職 伊藤 安彦

本当の品格を身につける「無我の心」の教え

千利休の息子の弟子に、路地庭造りの名人で桑山左近という人がいました。路地庭とは門から茶室に至る庭のこと。ある日、左近は石屋から立派な石を譲られ、それを庭に置きました。すると、左近の茶会に招かれた人が皆その石を誉めます。さぞや左近が喜ぶと思いきや、さつさとその石を片づけてしまいました。全体の調和を整えて庭を造ったのに、石ばかりが目立ってしまったことが嫌だったのです。

これは宗教家の紀野一義さん

の著書の中の、私の好きな話です。仏教の「無我の心」とは、まさにそういうものだと思います。人より目立ちたがり、「俺が、俺が」と言っているうちに、本当に偉くなったと錯覚したり、達人になったように思いつたりする人がいますが、それは本当の人格ではありません。

我執を取り払い、全体の人格が調和して整っていれば、隠しても自然と分かります。無我の心。それは、自身の品格を作るものです。

中高年からのパートナーシップ

自分の感情を感じるって意外に難しいこと...朝から不機嫌な顔で会社に現れる人、雑踏や電車の中で肩が触れただけで怒りだす人...赤ちゃんが快不快から感情をそのまま表現するのは違って、大人が自分の感情に気づいていないと回りに迷惑が及ぶこともしばしばです。

つらい体験やそれに伴う感情は誰もが多かれ少なかれ体験するものですが、感情の扱い方は二つのタイプに分かれるよう。特にパートナーシップで依存と自立の両極端にいるときは、依存の方は泥沼のように感情にどっぷりと飲み込まれ、一方、自立の側は鉄壁のように感情を遠ざけて、ますます感情が感じられず、心が干上がってしまいます。

一見格好いい自立人間は、自分の感情を切り離して、実は傷ついている自分を密かに恐れていることも。でも、何かの拍子に怒りが引き出されて、万が一みともなく怒ってしまったり、ふたが閉じかかった自分の心のなかにどんな感情がうずいているか、注意を払ってみてください。悔めさややるせなさ、さらには罪悪感や無力感...そんな感情に気づいたら、あなたの周りにいる人にもう少し優しくなれるはず。

集団生活の場でよく起きるのは、人間関係が近づくと、自分が感じられない感情は、夫婦の一方や子供、友人や同僚など身近な立場の弱人が引き受けざるを得なくなるのです。自分の中に渦巻いている感情を人に押し付けずに、どう対処するかが本当の大人ですね。いじめの原因も、そんなまわりの大人が作っているようにも思えるのですが。(椋林 郁夫・康子/横浜ライフキャリアセンター)

感情を感じるのは苦手でですか?

今から33年前の1974年、外国取材の仕事をしたとき、パリから南仏へ、人生初の海外旅行に出かけることになりました。フランスには語学が堪能な雑誌社の特派員の方がいらして、その方と一緒に二泊三日行った時に、昔習った英語を使って、自分でおみやげのネクタイを買おうと試みましたが、英語ができるというお店の人と話し始めたのですが、何を言っても通じないし、相手の言うこともわからない。学生の頃は英語が好きだったのに、ネクタイのひとつも買えないのかとがっかりしてしまいました。それで、帰ってすぐに英語塾に入り、英会話学校、イギリス人の先生のお宅での個人レッスンと場を移しながら、正統的な美しい英語を話すことを夢見て、まるで女学生のごとく熱心に勉強しました。

英語を習い始めてから12年。65歳の時に、イギリスのジャージー島を4日間取材し、その後は自費で好きに行動して良いという仕事が来ました。勉強の成果を試してみたいと思っていたところだったので、願ったり叶ったり。取材を終えて、5日目にヨークとエジンバラへのひとりで旅に出発しました。それからこれまで13回のイギリスひとり旅をしています。よくひとり旅を怖くないかと聞かれますが、旅で

出会う人はみんなすてき。不思議と知的な人が現れます。今ではホテルやレストランのスタッフと親しい友人になり、タクシートの運転手さんはまるで息子のようなです。私は景色や食べ物よりも、旅先で知り合った人と話すのがなにより楽しい。人を見て、人とふれあう。そのつど新しい出会いがあります。キーワードは、グッドモーニング、サンキュー、そして「ブリーズビーマイイングリッシュティチャー(私の英語の先生になってね)」。みんな「何でも聞いて」と親切にしてくれます。ある時、お茶に招かれ、部屋に猫がいるのを見て、「日本で猫の顔は土地や家が狭いという意味よ」と私が言うと、「私たちは猫の尻尾をもつて振り回さないくらい狭い」と言うのと「知ることかとても好き。私のひとり旅には、異なる文化を仕入れるという収穫もあります。年を取る物覚えが悪くなると言いますが、それは思い込みです。コマースで鉄棒をぐるぐる回るおじいさんがいますけれど、なぜあんなに回れると思えますか?それは回り続けているからです。頭の中も同じ。働かせ続ければ、回り続ける。何でも続けていくことが大切なんです。学んで



●きよかわ たえ
1921年、山口県生まれ。奈良女高師(現奈良女子大学)文科卒。教職を経たのち文筆活動に入る。古典評論、生き方エッセイ、手紙の書き方など、多方面にわたる執筆や講演会で幅広く活躍している。65歳からイギリスへのひとり旅を始め、NHK番組「英語でしゃべらナイト」にも出演。著者に「八十四歳。英語、イギリス、ひとり旅」(小学館)の他、「万葉集花語」(うつくしきもの枕草子)(ともに小学館)、「わが心の大家家持」(雄飛企画)、「心はいつも育ちざかり」(あすなる書房)、「出会いのときめき」(清流出版)、「人生をたのしむ言葉」(海竜社)、「花明かりのこぼれ」(佼成出版社)、「しあわせの果」(主婦と生活社)など多数。近著は「学んで楽しんで 86歳、ころ若く生きる」(あすなる書房)。http://www.geocities.jp/supka28jp/kiyokawa/kiyokawa.htm

旅で出会う人はみんなすてき。不思議と知的な人が現れます。景色や食べ物よりも、旅先で知り合った人と話すのがなにより楽しい。人を見て、人とふれあう。そのつど新しい出会いがあります。

清川 妙

KOKO PEOPLE

永代供養について教えてください。



(山下 幸枝さん 61 茅ヶ崎市)

現代は、少子化とともに、男も女も独身者が増えています。それらの人々の悩みのひとつは、自分の墓を誰が見てくれるか、ということであり

ます。生きている間に、寺院に相談をして永代供養をお願いするとよいと思います。人生はよく旅にたとえられます。旅の終着は、お墓に入ることです。その終わりを自分で決めておくことは自分の人生の最

みなさまからの仏事に関する質問をお待ちしております。お気軽にお寄せください。採用分には薄謝進呈いたします。

みなさまの声をおよせください

必要事項をご記入の上、官製はがきでお送りください。抽選で3名の方に全国の加盟店でご利用できるグルメカードをプレゼントいたします。
1. 郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号 2. 本紙に対するご希望 3. 本紙で面白かった記事 4. 本紙に対するご意見・ご感想・ご質問等 5. あなたが最近興味を持っている事
●宛先 〒254-0053 平塚市桜ヶ丘1-35 平安レジャーサービス(株)
湘和会堂「KOKO」43号読者プレゼント係
●締切 平成19年6月末当日消印有効
●本紙44号(平成19年9月発行予定)にて当選者発表

★前号当選者★
山崎 紀子様(藤沢市)/ 国本 京子様(茅ヶ崎市) / 渋谷 美穂子様(高座郡栗川町) 以上グルメカード3名様。ご応募ありがとうございました。

PRESENT

ジェフグルメカード 3000円相当 3名様

すでに生じた煩惱の芽は断ち切って、新たに植えることなかれ。今生じた煩惱の芽は長ぜしめることなかれ。かくのごとく歩む者を、聖者とは名づけたり。彼の仙人は平安の境地を借りし者なれば。(法句経208)

どのように修行して、私どもに本来具わってきたところの仏心を悟ったのか。実際に体験してきた者は、皆、同じ方法を示してきた。

昔、「念起こすは病(やまい)、念起こさざるは薬」と諭した者がいた。

唐の臨済禪師は「すでに起きた念は継ぐことなかれ。まだ起きてない念は放ち起すな。そのように工夫するなら、君たちが十年修行するよりも勝る」と言った。ブツダは植物の芽に喩えて説かれた。今日只今にしか生きていない身で、過ぎ去った昨日を煩い、まだ来ぬ明日を心配する。もし、今の一念を尽くして、過去と未来の念を断ち切ってゆけば、かえって永遠に貴かれてゆく。(形山 睡峰/菩提禅堂主)

ブツダの教え

41

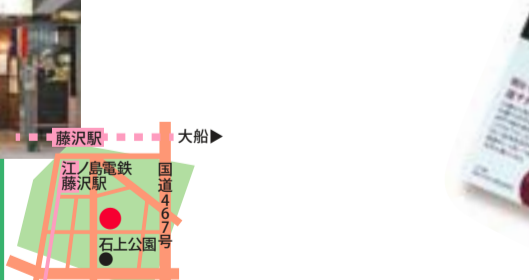
MY TOWN
わたしのとおきのお店
カフェクレープリー シェ・カオフィリ
藤沢市晴石石上1-4-3 TEL.0466-30-3950

フランスの雰囲気に触れながら大人がくつろげる隠れ家カフェ

藤沢駅から徒歩4分ほどの静かな路地に佇むガレットとクレープの専門店「シェ・カオフィリ」。シェフのフィリップ・ジョリヴェ氏は、フランスでクレープの調理師免許を取得して来日し、06年にこの店をオープンさせた。フランス・ブルターニュ地方の伝統レシピに基づいて作る、そば粉を使った食事系のガレットと、小麦粉を使ったデザート系のクレープは、「おいしくて体にも優しいもの」と、素材も厳選。信州の蕎麦栽培農家から挽き立てを取り寄せるそば粉は、全粒粉なので栄養価が高く、繊維質も豊富。クレープでは牛乳の代わりに豆乳を使っているの、さっぱりとしてヘルシー。小田原の有精自然卵をのせたガレット「玉子・チーズ・ハム、

營業時間
11:30~16:00 (ラストオーダー15:30)、17:30~20:30 (ラストオーダー18:30) ~21:00 (ラストオーダー)、日祝11:30~20:00 (ラストオーダー)
火曜定休・駐車場なし http://www3.ocn.ne.jp/~kaophili/

トマト」(850円)、オーガニックのバナナをトッピングしたクレープ「手作りチョコレート+バナナ」(650円)など、ガレット約25種、クレープ約20種が揃う。また、フランスでは、ガレットやクレープを食べるときに欠かせないというシードル(グラス600円)やブアレ(グラス650円)は、フランスの農園から直輸入。年ごとに風味の異なるオーガニックならではの自然な味わいを楽しめる。ブルターニュ地方の石造りの家をイメージしたという店内では、フランス語会話(月・金14:30~、1時間1500円。コーヒーまたは紅茶付き)や文化講座(要予約)も開催。フランスに興味のある人はもちろん、ゆっくり食事やカフェを楽しみたい人にもおすすめの軒だ。



読者プレゼント

清川妙さんサイン入り著書「八十四歳。英語、イギリス、ひとり旅」(小学館)「学んで楽しんで 86歳、ころ若く生きる」(あすなる書房)各3冊を合計6名の方にプレゼントいたします。ご希望の方は、下記の必要事項およびご希望の本のタイトルをご記入の上、官製はがきでお申し込みください。
1. 郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号 2. インタビュー記事のご感想 3. 本紙で面白かった記事 4. 本紙に対するご意見・ご感想 5. あなたが最近興味を持っている事 6. ご希望の本のタイトル

●宛先 〒254-0053 平塚市桜ヶ丘1-35 平安レジャーサービス(株)
湘和会堂「KOKO」43号特集インタビュープレゼント係
●締切 平成19年6月末当日消印有効
●本紙44号(平成19年9月発行予定)にて当選者発表
★前号当選者★井上 幸子様(藤沢市)/ 猪俣様(平塚市)/ 井澤 いつみ様(平塚市)/ 小山 忠義様(茅ヶ崎市)/ 以上4名様。たくさんのご応募ありがとうございました。